

史学委員会（第26期・第5回）議事要旨

日時：令和7年4月14日（月）12時50分～13時10分

会場：日本学術会議5-D会議室およびオンラインの併用

出席者：大橋幸泰、小田中直樹、芳賀満、松本直子、吉澤誠一郎

（以上5名、このうち松本会員はオンライン参加）

議事概要：

(1)各分科会の開催状況とその課題

各分科会の活動の進展について確認した。第26期において意思の表出を計画している分科会が複数あるので、審査に要する時日を適切に考慮しながら準備していくよう促していくこととした。また、アーカイブズと社会に関する分科会は、6月28日にシンポジウムを予定している。

(2) アーカイブズと社会に関する分科会からの提案

日本学術会議の提言「新型コロナウイルス感染症のパンデミックをめぐる資料、記録、記憶の保全と継承のために」（令和5年9月26日）のフォローアップの一環として、新型コロナウイルスの流行に関し各分野の学会がどのような活動をしてきたかという点について、情報収集を進めていく必要がある。そのため日本学術会議を通じて情報提供を呼びかける方法を探してみることにした。

(3) その他

特になし。

以上